学校番号	T3016

令和８年度　理　科

教科	理科	科目	わかりやすい理科	単位数	２単位	年次	２・３・４年次
使用教科書	特に使用しない						
副教材等	これまでに使用した・している理科教科書（科学と人間生活・化学基礎）や各自興味を持った科学に関する一般書など						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は3～4年生が選択する理科の科目である。小中学校の内容を含む理科に関する学習を振り返り、それらを踏まえながら、できるだけ生徒主体で勉強する内容を決めていきたいと考えている。選択した生徒の皆さんが興味を持って自主的にこの科目の学習を進めてもらいたい。教える側も出来るだけ生徒の皆さんの希望に答えたいと考えている。
下に示した『学習の活動』は主に化学に関する学習を行った一例である。

２　学習の到達目標

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め，科学的な自然観を育成する。
それによって育成された学力で自己実現を具現化させる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中学校・本課程２年次までに学習した・学習中の理科科目の内容を踏まえ、理科における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 　安全な実験実習を行うための態度・心構えについて学ぶ。	身の回りの事象から地球規模の環境までを視野に入れて、科学的な根拠に基づいて賢明な意思決定ができる力を養う。 　安全な実験実習を行うための判断力を養う。	科学の原理や法則が科学技術として日常生活や社会の中でどのように利用され、結び付いているかを具体的に示しながら，科学を学ぶ意義や有用性を実感させ、生涯にわたって科学に興味・関心をもち続けるようにする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		小中学校や 2 年次までで学んだ理科に関する学習の振り返り	a:小中学校や高校２年次までの理科に関する学習内容についての系統性を理解している。 b: これまで学んできた理科学習の内容に基づいて賢明な意思決定ができる力が身についている c:身の回りの化学技術とこれまで学んできた理科学習の内容を関連付けて興味を持つ態度を養う。	ディスカッション 定期試験	ディスカッション 定期試験（記述）	ディスカッション
	化学基礎　物質の構成と化学結合　物質の構成粒子	周期表と基礎的な化学物質について振り返り	a: 中学校理科や科学と人間生活・化学基礎の学習を踏まえ、原子番号 20 番までの元素記号や基礎的な化学物質の化学式について理解し、知識を身に付けている。 b: 身の回りの化学品について、安全な取り扱いを行うことができる考え方を身に付けている。 c: 身の回りの含む化学品について関心を持つ態度を養う。	カードゲーム 定期試験	ディスカッション	ディスカッション
後期	化学　有機化合物　有機化合物の分類と分析	基礎的な有機化合物について	a:基礎的な有機化合物の名称や構造についての系統性を理解し、知識を身に付けている。 b:身の回りの有機化合物を含む化学品について、安全な取り扱いを行うことができる考え方を身に付けている。 c: 身の回りの有機化合物を含む化学品について関心を持つ態度を養う。	カードゲーム 小テスト 定期試験	ディスカッション 定期試験	ディスカッション

後期	化学基礎　物質の変化　酸と塩基の反応	酸塩基の実験について	a:小中学校理科で学習する酸塩基に関する事柄や、関係する試験紙・指示薬に関する事項を再確認し、さらにこれらに関する高校初歩程度の知識を身に着けている。 b: 安全な実験実習を行うための判断力を養う。 c:日常生活にまつわる酸塩基に関する事項について関心を持つ態度を養う。	ディスカッション 定期試験	ディスカッション 実験レポート 定期試験	ディスカッション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度